

これを書いているのは2月4日、国家試験受験の皆さんお疲れさまでした。大変だったと思います。でも6年間学んだことを、この先に活かすためには避けては通れません。

さて、この時期に教育研修部で大変なのは来年度のローテーション作りです。私も作ってきましたが、昨年から教育研修部で作ってもらっています。

内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、精神科の院内できる必修科と市内の2病院、県外の2病院に出てもらおう地域医療研修に、選択科を組み合わせたらうえ、1年目、2年目をバランスよく配置するのは、率直に言ってかなり難しいものになります。

1年目の先生の希望は、当然ながらあまり負担のかからない（と思われている）診療科からスタートして、徐々に忙しい厳しい診療科を、そんな希望が多くあります。2年目になると専攻を考えている診療科を早めに、足りないと思っている診療科を入れたり、進む先が決まった人はその診療科を重点的に選んだり、などそれぞれの進路に応じて希望は様々です。

大学からのたすき掛けの先生が決まるとアンケートを取りますが、人の考えることはそれほど違いがないので、傾向の似た希望が出てくるのをいかにうまく振り分けるか、悩みどころです。一つの診療科に5人も6人も当てはめることは、研修医、指導医共に無理があります。1ターム2名、無理して3名、と考えているので、脳みそ絞るわけです。

はっきり申し上げると、これまで希望しない診療科への変更をお願いしたことはありませんが、1年目の研修順は希望をほぼ無視しておりました。2年目の前半は死守しています。最初から厳しい診療科でもめげないでください。救急科から始まる人が必ずいます。でも、その経験がその後を支えてくれるはずですよ。



行き詰りますよね。私も「無理無理！」って何度も叫んでしまいましたよ。